

J.LEAGUE NEWS



J.LEAGUE

編集・発行
社団法人日本プロサッカーリーグ
ホームページ <http://www.j-league.or.jp>

スポーツで、もっと、幸せな国へ。Jリーグ百年構想

Vol. 147

28.Apr.2008



写真左は J1 第6節、清水vs名古屋。右上はヤマザキナビスコカップ予選リーグ第3節、川崎 Fvs 柏。右下は ACL グループステージ第3戦、鹿島vs北京国安

ピッチ上で各大会の熱戦が続く

リーグ戦、リーグカップ戦はし烈な順位争い。ACLではJクラブが好調

2008シーズンが開幕して2カ月近く、気温の上昇とともに、ピッチの上でも国内外の大会の熱い戦いが繰り広げられている。J1リーグ戦は4月20日に第7節を終え、攻撃的なサッカーでファン・サポーターを魅了している名古屋グランパスが首位。J2リーグ戦では、サガン鳥栖、FC岐阜などの健闘が上位争いを面白いものにしている。2008 Jリーグヤマザキナビスコカップは同16日に予選リーグ第3節を終え、各グループで接戦を展開。AFCチャンピオンズリーグ(ACL) 2008は、4月9日にグループステージ第3戦が行われ、鹿島アントラーズ、ガンバ大阪が、それぞれのグループでトップに立った。

J.LEAGUE OFFICIAL SPONSORS

Calbee

Canon

KONAMI

AIDEM

マイラン製薬

leopalace 21

plenus

NETWORK PARTNER



J.LEAGUE 100 YEAR VISION PARTNER

朝日新聞

J.LEAGUE BROADCASTING PARTNER

SKY PerfecTV!

LEAGUE CUP SPONSOR

ヤマザキナビスコ

J.LEAGUE ALLSTAR SOCCER SPONSOR

JOMO

SUPER CUP SPONSOR

FUJI XEROX

EQUIPMENT SUPPLIER

molten

J.LEAGUE OFFICIAL SUPPLIER

Johnson & Johnson

経営

2008 Jリーグ新GM講座プレ講座を開催

講師にローガン・テラー博士を招き、GMに必要とされる素養の一端に触れる

今年度から始まる「2008 Jリーグ新GM (ゼネラルマネージャー) 講座」のプレ講座が3月26日、J F Aハウス内のJリーグ会議室で行われた。講座にはJクラブのGMなどが出席。鬼武健二Jリーグチェアマンのあいさつで開会し、英国より招いたローガン・テラー博士の講義の後、JリーグHRディベロップメントグループより新GM講座の概要と応募要領の説明が行われた。

鬼武チェアマンは冒頭、「世界に通用するクラブをつくらなければ、Jリーグの発展はない。それに携わる人材を育成していかなければ」と、GMの重要性を強調した。

講師を務めたテラー博士は、多くの人材を世界のサッカー界に送り込んでいるリバプール大学大学院MBA (経営学修士) サッカー産業コースを創設し、同コースのダイレクターを務める。また、作家やコメンテーターとしても活躍している人物だ。

講座の第1部においてテラー博士は、「物

事を理解するためには、その背後にある歴史を学ばなければならない」と語り、サッカーの起源、発展について映像を用いながら解説した。博士は日本や韓国のプロリーグが、西欧のそれとは全く異なる成立の状況についても認識しており、この講座に先立ち鬼武チェアマンとの会談で聞いたという「Jリーグ百年構想」を「サッカービジネスを考える上でも正しい道のり」と評価。一方では、「Jクラブはマネジメントで失敗する余裕はない」と、出席者へ訴えかけた。

博士は講義の中で、試合展開に緊張し、終了のホイッスルが鳴ると同時に早くも次の試合が不安となるファン・サポーターの心理を例に、「われわれのビジネスの対象は、悩みや苦しみ。楽しみの部分は非常に少ない」と、独特の考えも披露した。「プロスポーツ＝エンターテインメント」という一般的な概念に対し、非常にユニークな視点といえるだろう。

また、手の使用に制限のあることを一つの例として、サッカーの特殊性にも言及。独特のスポーツであるがゆえに、強化、経営、育成、地域貢献など多様な活動に携わるGMが、高度な専門性を必要とする職務であることに触れた。

第2部においては、イングランドで起きているクラブのオーナー権の問題について、博士が応援しているリバプールFCを例に解説。クラブが株式を市場公開することにより、誰もがクラブの所有権獲得が可能となった弊害について話した。博士は愛するクラブのため、ファン・サポーターから出資金を募り、クラブ買収と新スタジアム建設の費用を調達する活動も精力的に行っている。

約3時間の講義は、博士のサッカーへの強い愛情がにじむものだった。出席者もサッカーの長い歴史、現在の諸問題に触れる貴重な機会を通し、クラブ経営の中核を担うGMを目指す上で、大いに刺激を受けたことだろう。



「クラブとファン・サポーターは家族のような関係」とテラー博士



開会のあいさつをする鬼武チェアマン

2008 Jリーグ新GM講座は5月に開講予定

Jリーグは今年度より、従来のGM講座を発展させ、Jリーグ、Jクラブの経営に資する人材を輩出する仕組みとして「2008 Jリーグ新GM講座」を開講する。この講座は、サッカー界の内外を問わず選抜、選考され、厳選された少数の受講者に対し、1年間、あるいは複数年にわたり講義、研修 (海外研修も企画予定)、ディスカッションを通じてプロサッカークラブの経営に必要とされる高度なマネジメントスキルの習得、実践の機会を提供する。

16年目のシーズンを迎えているJリーグは現在、33クラブに拡大し、さらに入会を希望するクラブも増えている。そこで課題となるのが、

クラブ経営に必要な素養、経営環境の複雑化に対応する専門性、経営者としての高度、多様な能力を備えた人材の不足である。

Jリーグはこうした課題に対して、さまざまな取り組みを行ってきたが、新GM講座では以下のような実践的な講座を志向する。

- ① クラブ経営に最低限必要な基本のマネジメントスキルの提供
- ② Jリーグ、Jクラブで活躍し、発展に貢献する人材の継続的な輩出
- ③ Jリーグ、Jクラブによって蓄積されてきたノウハウ、経験、見識の集約、共有と、その

提供

- ④ 海外動向の継続的な収集、判断による将来的な戦略立案への活用
- ⑤ 経営者としての高度な資質に触れることによる、自己研さんへの心構え

開講式、セッション1は、5月下旬に予定されている。講座は年間を通じて15セッション程度で構成され、1セッションは月に1～2回を予定。内容は、チーム強化、育成や、フットボールマーケティング、リーガル (選手契約・移籍)、リスクマネジメント、施設管理、コミュニティディベロップメントなど多岐にわたる。

Jリーグ、Kリーグの選抜選手がJOMO CUP 2008で対決

J-ALLSTARSを率いるのは鹿島アントラーズのオズワルド オリヴェイラ監督

Jリーグは3月24日、今年の8月2日(土)に国立競技場において開催される「JOMO CUP 2008」の開催概要を発表した。従来はJ1リーグ戦の18クラブを東西に分け、ファン・サポーターの投票によって選出された選手による「オールスターサッカー」として行われていたが、Jリーグの選抜選手と、韓国プロサッカーリーグ「Kリーグ」の選抜選手による対戦へ変更。それに伴い、大会名を「JOMOオールスターサッカー」から「JOMO CUP」へ、また出場監督・選手の選出方法を変更した。

Jリーグ選抜チームの「J-ALLSTARS」を率いるのは、2007 Jリーグチャンピオン、鹿島アントラーズのオズワルド オリヴェイラ監督。選手の選考は、Jリーグ技術委員

会が出場監督の意見を参考に、リーグ戦などにおける活躍を総合的に判断し、出場選手案をJOMO CUP 2008出場選手選考委員会に推薦。その案を基に、Jリーグのチェアマン、専務理事、常務理事、技術委員長で構成されるJOMO CUP 2008出場選手選考委員会で決定される。各クラブから選出される選手数の上限はなく、外国籍選手は3名以内。

Jリーグの鬼武健二チェアマンは開催概要発表記者会見の席上、「Jリーグは、できるだけ多くの国際経験を積み、国際経験豊かなクラブ・選手を育てていきたいと思っている。東アジアを代表するプロリーグであるJリーグと韓国のKリーグの選抜チームが対決できることは大変うれしく、大いに刺激になると

思う」と語った。

また、チームを指揮するオズワルド オリヴェイラ監督は「日本を代表し、日本のサッカーを見せなくてはいけないという立場、任務をいただいたと思う。それに恥ずかしくない、いいサッカーをお見せすることができれば」と抱負を述べた。

なお、この大会開催に合わせ、Jクラブ下部組織の選手たちによる対戦・交流も検討されている。

JOMO CUP 2008開催概要

2008年8月2日(土) 国立競技場 18:00キックオフ
J-ALLSTARS vs K-ALLSTARS

- 主 催 財団法人 日本サッカー協会
社団法人 日本プロサッカーリーグ
- 共 催 有限責任中間法人 Jリーグ選手協会
- 主 管 社団法人 日本プロサッカーリーグ
財団法人 東京都サッカー協会
- 特別協賛 株式会社ジャパンエナジー
- チーム編成 J-ALLSTARS vs K-ALLSTARS
J-ALLSTARS: J1 18クラブより選手を選出
K-ALLSTARS: 韓国プロサッカーリーグ(Kリーグ)
1部14クラブより選手を選出
- 試合方式 90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合は両チーム優勝とする。
- 表 彰
勝利チーム賞 JOMO CUP
MVP賞 賞金100万円(提供:株式会社 ジャパンエナジー)、副賞
敢闘賞 賞金50万円(提供:株式会社 ジャパンエナジー)、副賞
- 入場券販売 2008年6月上旬発売予定



大会ロゴを持つ、左からオズワルド オリヴェイラ監督、鬼武チェアマン、株式会社ジャパンエナジーの松下功夫代表取締役社長、韓国Kリーグの金元東事務総長

「アイデムしごと探検隊」が今年もJリーグ事務局を訪問

春休みを利用し19名の小学生がJリーグにかかわる仕事を熱心に取材

子供たちが「しごと」の現場を訪問・見学し、働いている人々への取材を通じて「しごと・働くこと」について考える機会の提供を目的とする「アイデムしごと探検隊」が、今年も4月1日にJリーグ事務局で行われた。

参加者は事前募集により、4月から小学5、6年となる男女19名。スタジアム内の広告看板を扱う会社の担当者、レフェリー、フォトグラファー、ボールメーカー担当者と、Jリーグにかかわる仕事を行う人々の話に、熱心に耳を傾けた。また、チェアマンルームやJリーグ関連会社のオフィスも訪問した。

子供たちは今回の経験を雑誌の記事風にまとめ、その成果はJリーグオフィシャルスポンサーの株式会社アイデムが発行するフリーペーパーに掲載の予定。小学6年の男子は「今まで知らないことが多く、勉強になった」と話してくれた。



チェアマンルームを訪問。鬼武チェアマンとともに記念撮影を行った子供たち